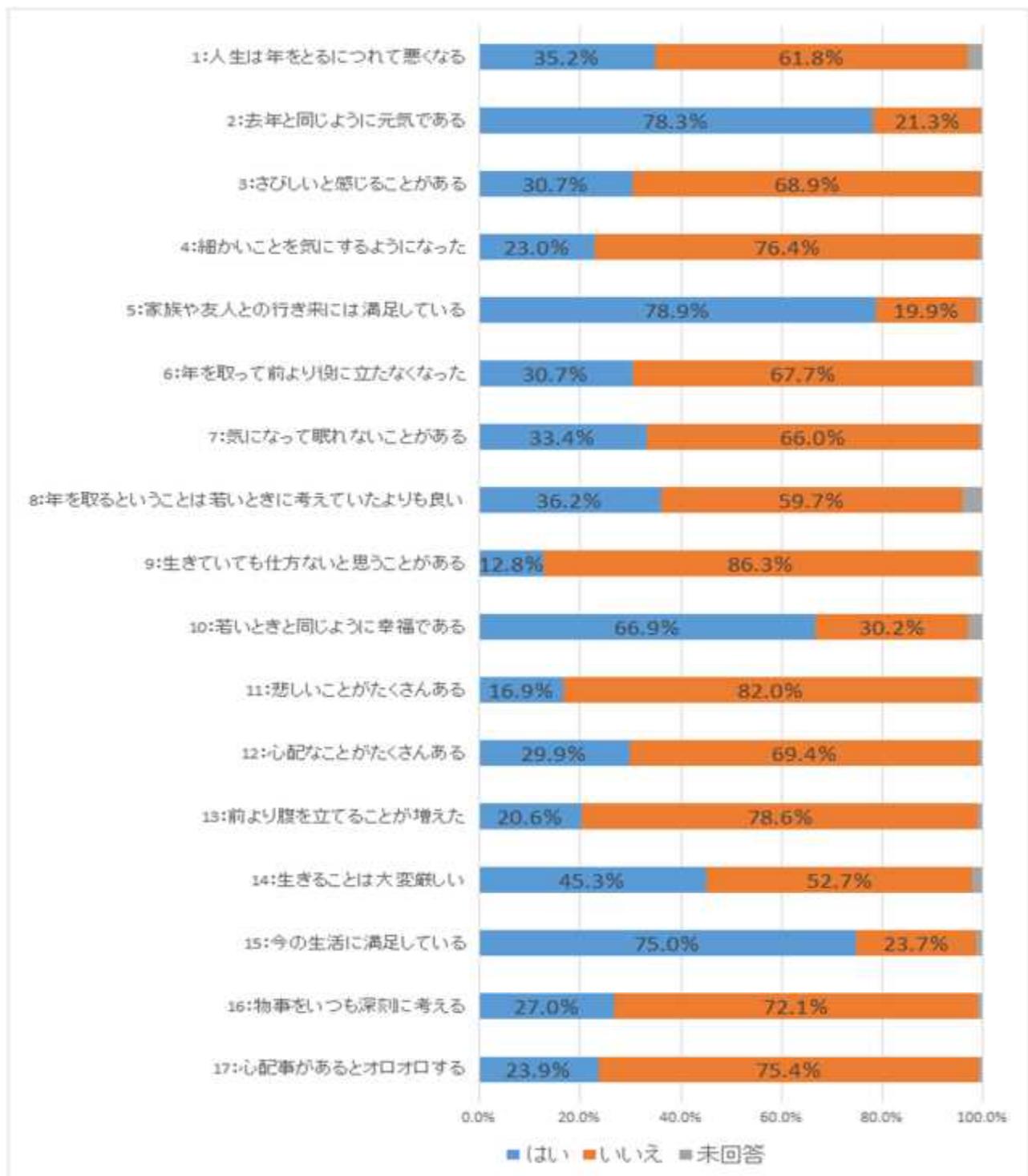


## 主観的幸福感に関するアンケートの回答結果について

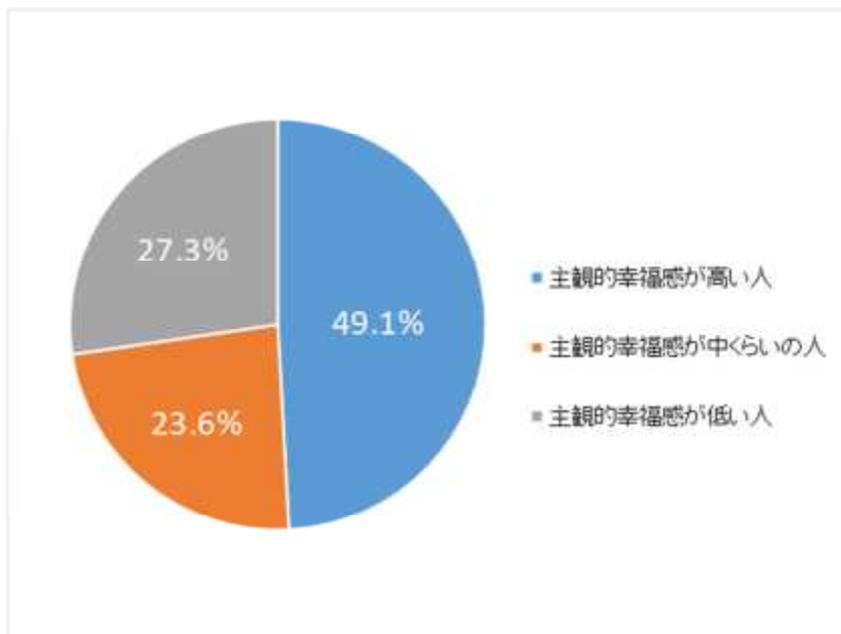
今年2月に令和4年度75歳になる人を対象にお送りした「主観的幸福感に関するアンケート」は、1,396人から回答をいただきました。

このアンケートでは、PGCモラールスケール（17点満点）を使用し、13～17点：幸福感が高い、10～12点：幸福感が中くらい、0～9点：幸福感が低いと判定されます。

### 1 各設問への回答結果



## 2 幸福感の感じ方



主観的幸福感は「健康度」「社会経済的地位」「家族」の3つが関連し、主観的健康度と最も強く関係しているといわれています。ほとんどの設問で好ましい回答が60%以上となっていました。「年を取るということは若いときに考えていたよりも良い」は、好ましい回答が36.2%と低い水準になっています。

これらを含めて今後、同時期に回答いただいた基本チェックリストの結果も分析し市の健康増進事業に反映させていただきます。ご協力ありがとうございました。